

道内出版11社で 書籍電子化推進

来月協議会設立

書籍電子化の推進を図ろうと、道内の中小出版11社でつくる実行委員会は28日、技術、営業面の業務を一括支援する一般社団法人「北海道デジタル出版推進協議会」を6月中旬に設立することを決めた。

中西出版、柏鱧舎、北海道大学出版会（いずれも札幌）などで構成。代表理事は林下英二・

中西出版社長。協議会加盟社以外の支援も行う。同種の全国組織は昨年、講談社、新潮社など大手の出資で発足した出版デジタル機構（東京）があるが、道内では初めて。「地方レベルでは珍しい取り組み」（経済産業省文化情報関連産業課）という。

書籍電子化には①印刷用データを電子書籍の国際規格データに変換②電子書籍取次サービス業者との交渉―な

どの作業があり、地方の中小出版社単独では負担が大きい。協議会ではこのほか、札幌市中央図書館の電子図書館実証実験への出版物提供も行う。

2013年5月29日（水）

北海道新聞 朝刊